

第5回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録

1. 日 時:2014年2月7日(金)13時30分～17時30分

2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室

3. 出席者:井手(東電)、川端(関電)、近藤 (MHPS)、山崎(東京 PT)、朝倉(東芝)、大鹿(中電)、
五代儀(火原協)、竹石(東北電力)、橋井(富士電機)

代理者:

欠席者:なし

オブザーバ:青木(東北電力)、東(富士電機)、山地(関電)、稲田(電中研)

事務局:海野(記)

4. 配布資料

5-1 . 前回議事録案

5-2 . 配管減肉分科会委員名簿

5-3 . 第66回火力専門委員会議事録(案)

5-4 . 第67回規格委員会議事録(案)

5-5 . 配管減肉分科会活動状況まとめ

5-6 . レビュー資料

5-7 . 新規提案について

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料5-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料5-2]

新任・再任候補、及び退任委員無しが確認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料5-3]

第66回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第4回配管減肉分科会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の対応について
- ・ 委員会資料取り扱い内規案の対応について
- ・ 次期火力専門委員長を選任結果について

(3-2) 規格委員会報告

[資料5-4]

第67回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下

の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の可決(運営企画委員会への上程)
- ・ 委員会資料取り扱い内規案再投票の承認
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(4) 審議事項

(4 - 1) 配管減肉管理に関する規格(JSME S CA1-2005)の改訂について [資料 5-5]

原子力専門委員会配管減肉分科会の稲田主査より配管減肉管理に関する規格(JSME S CA1-2005)(火力設備配管減肉管理技術規格の親規格)が2005年から改訂されておらず、今後の方針について検討するにあたり火力側とも相談したいとの申し出があった。3月5日開催予定の規格委員会幹事会にてタスク設置の可否等進め方を相談する予定とのこと。原専配管減肉分科会幹事会における規格本文読合せでの状況と参考資料(配管減肉に関する技術的知見の現状)の説明がなされた。原専配管減肉分科会への回答のため、2月末までに技術的知見、4月上旬までに規格本文の意見集約を行う方針が出席委員全員の賛成により承認された。

< 特記事項 >

- ・ P.1 解説 A-1000-2 の記載について LDI が対象となっていないが、上位委員会では FAC と LDI を対象としていることからこのままでいいか議論となった
→ 火力側の見解については別途回答
- ・ P.2 解説 A-3000(2)の法律について火力に関する法律について確認
→ 火力に関する法律は無いと回答
- ・ 内容の変更が必要となる意見については2月中にお願いしたい
→ 規格本文については4月上旬、技術的知見の現状については2月中に回答する

(4 - 2) 火力設備配管減肉管理技術規格(2009 年版)レビュー [資料 5-6]

各担当委員からレビュー結果が説明された。今後のレビュー結果については分担グループごとに取り纏めることとし、取り纏め担当委員を井手主査より別途指名することとなった。

< 本文 >

- ・ 誤記、表現、規格最新年版の修正。
- ・ 本文中に「寿命評価」、「余寿命評価」と記載が混在しているため「余寿命評価」に統一する。

< 附属書 >

- ・ 誤記、表現、規格最新年版の修正。
- ・ 試験装置の用語の定義について、JIS (非破壊検査用語等)を再確認のうえ修正する。
- ・ 発電用火力設備規格(第5章「配管」ボイラ大径管溶接部検査に適用する規格)の最新年版引用について旧規格との整合を確認する。
- ・ ひずみ測定法試験員の要件について、NDIS4402 と JIS Z2305 を比較し再検討する。

- ・ 放射線透過試験の試験員の要件について実測定状況をふまえ再検討する。
- ・ 附属書内における記号の定義を明確にし統一する。(例 肉厚 t 、外径 d)
- ・ ガイド波反射法の反射エコーについて JIS Z2300 非破壊試験用語に統一する。

< 添付資料・解説 >

- ・ 誤記、表現、規格最新年版の修正。
- ・ 解説へ「高減肉事例の追加収集について」、電事連調査結果受領後修正する。

(4 - 3) 新規提案について

[資料 5-7]

富士電機株式会社の東氏より放射線透過式配管厚さ測定装置に対する委員からの意見への対応案が示された。内容については資料持ち帰りにて各委員が確認することとなった。また添付資料の実機での測定結果や保温材と配管との隙間による芯ずれ時の補正計算方法等について説明された。実機での測定データが非常に少ないため採用にあたっては測定データ(数・条件)をもっと増やすことが必要条件となることを説明した。

意見対応案については3月14日を期限として各委員からのコメントを集約することが出席委員全員の賛成により承認された。

(4 - 4) 規格内技術の現状について

[資料 5-6-2-4]

朝倉委員より規格改訂作業に伴い現状採用されている電磁超音波法の現状について紹介された。今回の改訂には反映しない方針。

6. 次回開催予定

日 時: 2014 年 4 月 25 日(金) 13 時 30 分 ~ 17 時 00 分

場 所: 日本機械学会 第3・4会議室

以 上